

福祉かわら版



福祉かわら版は、社会福祉協議会から学区福祉委員会の皆さんにお伝えしたい情報をまとめています。地域の方にお話いただいたり、福祉委員会活動でご活用ください。



地域の居場所

子ども食堂

みんなの居場所



子どもの7人に1人が貧困に陥っている日本。県内でも10人に1人の子どもが貧困状態であるとの調査結果が出ており、非常に身近な問題になっています。

当初は、子どもの貧困問題をきっかけに開始された「子ども食堂」ですが、現在では、「(困難を抱える家庭の)子どものための食堂」だけでなく、高齢者の食事に子どもが参加している等の「地域と子どもがつながる、地域の居場所」となっています。そして、子どもが子ども同士で、あるいは地域の大人と触れ合うことができる交流の場所になっています。また、学習の場として宿題をしたり、わからない問題を大学生のお兄さん、お姉さん、大人に教えてもらっています。その活動が全国に、そして市内に広がっています♪

～市内の子ども食堂～

子ども食堂名(町)	実施日	時間	参加費
十楽こども食堂(滝町)	毎月第2・3月曜日	17～19時	子ども無料、大人300円
おいでん家(美合町)	毎月第2・4火曜日	16～19時	子ども無料、大人300円
ココカラ(向山町)	毎月第3木曜日	16～19時	子ども無料、大人200円



ひきこもりという社会問題!!



<ひきこもりの定義>

仕事や学校に行かず、かつ、家族以外の人との交流をほとんどせず、6か月以上続けて自宅に引きこもっている状態。

<主な原因となりうるもの>

- ①精神障がいがあるもの
- ②精神障がいがあるが第一の原因とは考えにくいもの

※現代社会では、②の状態の『ひきこもり』が取り上げられることが多くなっています。



様々な要因が背景となって生じる『ひきこもり』という現象。厚生労働省の推計(世帯数)では、全国に32万世帯だと言われています。なかなか見えにくい問題でもあるため、『ひきこもり状態の長期化』が大きな社会問題になっています。また、40歳代以上の中高年のかたのひきこもりも深刻な問題となっており、社会的孤立を生む、1つの原因とも言われています。

予告!!

今年度の地域福祉講座では、この『ひきこもり』をテーマに取り上げます。

テーマ『外に出られない大人たち、学校に行けない子どもたち ～ひきこもりについて考える～』

日時：平成30年9月7日(金) 14時～16時

場所：岡崎市福祉会館6階ホール

講師：愛知教育大学大学院 教育実践研究科(教職大学院) 准教授 川北 稔 氏

『ひきこもり』という現象と一緒に学んでみませんか?

ブロック代表紹介

今年度、学区福祉委員会を盛り上げてくださる9名の**ブロック代表**をご紹介します！！（順不同・敬称略）



本庁南 長坂 宏 本庁北 加藤勝己 岡崎 稲石哲雄 大平 柴田泰文 東部 青山正明 岩津 入江紀夫 矢作 松本幸健 六ツ美 杉崎和明 額田 鈴木一巳



Q. 今年度はどんな講座を開催する予定なの??
 A. 年間の講座予定を一覧にしたよ!
 ぜひ活動者の方に受講いただきたいなって思っているよ!



日 程	講 座 等	内 容
7月17日(火)	学区福祉委員会委員長研修会	委員長同士の交流や情報交換
8月21日(火)	広報についての研修会	親しみやすい広報紙についての講話と実践
9月7日(金)	地域福祉講座	ひきこもり支援についての講演
9月19日(水)	語ろう会(ふれあい部会)	世代間交流についての情報交換
9月29日、10月6日(土)	地域見守り研修会	見守り活動における対象者の心理変化を学ぶ研修
10月18日(木)、19日(金)、23日(火) 11月2日(金)	地域福祉リーダー養成講座	地域福祉活動者のリーダー的な存在を養成する講座 (地域共生社会推進サミットinながくて 18日19日参加)
11月5日(月)	語ろう会(広報部会)	広報紙についての情報交換
12月3日、10日、17日(月)	交流の場づくり研修会	世代間交流の効果と作り方
12月7日(金)	語ろう会(在宅福祉部会)	災害時避難行動要支援者名簿の活用についての情報交換
12月~3月	ミソ端会議と会計確認	地域福祉計画の進捗状況の確認、地域と社協の意見交換のための座談会 併せて会計確認の実施

地域福祉活動を実践する上での『ヒント』を持ち帰っていただけるような内容を企画しております。
 日程が近づき次第、随時案内文書を各学区福祉委員会の委員長宛に送付します。たくさんの方の受講をお待ちしております。

地域の支えあい応援し隊！！



今年度は地域支援係の6人で
みなさんのお手伝いをさせて
いただきます！
この顔！覚えてくださいね！



地域支援係長